

# 「テロ対策パートナーシップ和歌山」通信【第19号】

令和7年11月25日

テロ対策パートナーシップ  
和歌山事務局

## 大阪・関西万博が無事、閉幕しました。

令和7年4月13日から10月13日まで、大阪市夢洲において大阪・関西万博が開催されました。

期間中、日本国内をはじめ、世界各国から2,500万人を超える多くの来場者が訪れた他、各国の首脳(要人)等が来日しましたが、全国から多くの警察官が特別派遣され、要人警護や雑踏警備等、警備の万全を期した結果、大きな事件・事故もなく、無事、閉幕されました。

隣接県である和歌山県においても、期間中、多くの訪日外国人が訪れたことから、公共交通機関、商業施設、空港といった多くの人が集まる場所(ソフトターゲット)等において、警戒警備を実施しました。

本万博の成功は、関係機関と民間企業との緊密な連携なくしては、実現できなかったと考えています。

今後とも、県内の生活基盤を支える皆様と強固な協力関係を継続しながら、各種テロの未然防止のため、一体となってテロ対策を推進し、安全で安心な地域社会の実現を図っていききたいと考えていますので、引き続き、連携をお願いいたします。

## 官民連携によるテロ対策訓練を実施

J R 紀伊田辺駅において、テロ対処訓練を実施（令和7年7月9日）

来年に当県において開催が予定されている「第49回全国育樹祭」に向けたテロ対策の一環で、J R 紀伊田辺駅において、J R 西日本と合同で「テロ対処訓練」を実施しました。

訓練では、JR職員との連携強化及び不審者に対する装備資器材の有効活用や乗客の避難誘導等、事案対処能力の向上が図られました。



J R 職員による被疑者対応状況



駅員による被疑者牽制状況



駅員の応援と乗客避難状況

会員の皆様が実施されたテロ対策に関する活動状況をお寄せください。



テロ対策は、警察による取組のみでは十分ではなく、関係機関、民間事業者等と連携して推進することが望めます。県警察では、不特定多数の者が集まる施設、イベント等において、制服警察官による巡回等の「見せる警戒」を実施するほか、施設管理者等に対して、職員や警備員による自主警備を働きかけています。

テロの未然防止に向けた警察の取組への御理解と御協力をお願いします。

テロ対策パートナーシップ 和歌山事務局  
電話 073-423-0110  
(内線 5821・5822)

ホームページは  
こちらから →

